

平成27年4月1日

会員各位

協会だよりー268(4月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス

- 2014年(平成26年)版触媒資源化実績報告書を発行予定。
2014年度資源化実績評価金額: 4,340億円となる。
- 第40期総会(平成27年度)
開催日: 平成27年5月12日(火) 総会 15時45分~17時15分
懇親会 17時30分~19時30分
場所: JXグループ六本木クラブ2F会議室&地階和室



江戸城探検・皇居外苑(皇居前広場)より辰巳櫓を望む。本丸から見て東南(辰巳)の濠の角にある。

kobavashi

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 会員の異動(退会・入会)
- 三. 触媒資源化実績(総合) 2014年増加傾向
- 四. 事務局より(四年度の予定)
- 五. ブラジル・リオデジャネイロ
- 六. 【雑学】江戸を歩く江戸城探検(1)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー267(3月号)をメール&郵便で送信(2/27)
- ② 第二回調査・技術委員会
日時: 平成27年3月13日(金) 15:00~17:00
場所: 太陽鋳工(株)東京支店会議室
議題: 2014年資源化実績のとりまとめ、編集。
出席: 各調査部会長、専務理事

③ 第二回役員会

日時：平成27年3月17日（火）10：30～11：30

場所：㈱徳力本店会議室

議題：39期活動の総括と40期活動方針の決定

出席：会長、副会長、会計、理事、監事、専務理事

④ 第一回広報委員会

日時：平成27年3月19日（木）10：30～11：30

場所：ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社会議室

議題：HPの管理、資源化実績のマスコミ公表、他。

出席：広報委員、専務理事

⑤ 第六回運営委員会

日時：平成27年3月19日（木）16：00～17：00

場所：堺化学工業㈱東京支店会議室

出席：運営委員、第224回月例会幹事、専務理事

議題：平成27年度（第40期）月例会の検討、第224回月例会の総括、第225回月例会の準備

【予定事項】

① 会計監査

日時：平成27年4月13日（月）15：00～17：00

場所：太陽鋳工㈱会議室

出席：監事、会計、専務理事

議題：第39期（平成26年度）会計監査

② 臨時運営委員会

日時：平成27年4月10日（金）16：00～17：00

場所：堺化学工業㈱東京支店

出席：運営委員・専務理事

議題：役員・委員の選出、任期の原案検討等。

③ 総会資料発送・・・4月15日（水）予定

④ 第40期（平成27年度）定期総会

日時：平成27年5月12日（火）15時45分～17時15分

場所：JXグループ六本木クラブ

2. 会員の異動

（退会）正会員

- 東京化学開発株式会社（代表取締役社長 福田重雄）殿

正会員である東京化学開発株式会社殿より提出いただいている退会届を平成27年3月末日付けで受理いたしました。

東京化学開発株式会社の今後の繁栄を祈念致します。

(入会) 賛助会員

- アイアールユニバース株式会社 (代表取締役社長 棚町裕次) 殿

本 社 274-0812 船橋市三咲 8-4-16 Tel : 047-402-4902

資本金 4000 千円

従業員 8 名

協会担当者: 棚町裕次

おもなる事業内容: 金属資源関係の情報配信 (MIRU.com の運営)、市場調査、研究会 (IRRSRG) の運営、リサイクルのコンサルティング、他。

2月24日、賛助会員への入会申請がありました。

3. 触媒資源化実績 (総合) 2014 年増加傾向

単位: 百万円

部会名	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2014/2013
貴金属	239,651	367,755	356,815	353,267	400,336	113.32%
Ni-Co	540	1,324	1,152	950	951	100.11%
Mo-V-W	5,137	3,369	2,810	3,508	3,387	96.55%
アルミナ	103	49	190	127	27	21.26%
レアメタル	17,419	29,665	14,888	15,555	29,099	187.13%
合 計	262,850	402,162	375,855	373,407	433,800	116.17%

貴金属部会で約 471 億円増、レアメタル部会で 135 億円増があったため、Mo-V-W 部会で 1 億 2 千万円の減、アルミナ部会で 1 億円の減であったが、総合では 604 億円の増加となった。資源化数量が大幅に増加しなかった割には一段と進んだ円安の効果が大きいと考えられる。

4. 事務局より (4 月度の予定)

月	火	水	木	金	土
3/30	3/31	1	2	3	4
×	○	×	×	○	×
6	7	8	9	10	11
×	○	×	×	運営委員会	×
13	14	15	16	17	18
会計監査	○	○	×	○	×
20	21	22	23	24	25
×	○	×	×	○	×
27	28	29	30	5/1	5/2
○	×	昭和の日	○	○	×

4 月度の出勤予定: 11 日間、×赤字は個人予定。

5. ブラジル・リオデジャネイロ

米国顧客のブラジル工場がリオにあり、私どもは光半導体を納入、打ち合わせに何度か訪問している。社員に日系二世が居り、日本語が堪能で通訳として大変お世話になった。周知の如く世界三大美港のひとつにも数えられるリオは、サンパウロに次ぐブラジル第二の都市で、世界的な観光都市としてもあまりにも有名だ。

カーニバルとサンバの都、白い砂浜と直立する岩山、コロニアル調の建物、リオの持つ表情はどれも多彩で華麗なものばかりだ。首都ブラジリヤの前200年間、政治、経済の中心地でもあった。サッカーペレを生み育てたサッカーが国家的スポーツだ。コルドバの丘(710米)頂上に独立100年記念に建造されたキリスト像があり、高さ30米、幅28米は目立つ、又コパカパーナ、イパネマ両海岸は世界的に有名で大胆な水着娘が群がり最適の散歩コースである。リオのカーニバル

も人気を博しており、この時期レストランは3倍に、交通機関はマヒ状態で騒乱はひどく死者も出る由、自分はこの時期は敬遠しているが、普段でも15\$で一流ダンサーのサンバショウがビール一本付きで見学できる。

次に、テレビ等でブラジルの上げ潮の凄さを知っている人は多いと思う。最大時、湾口から陸上二百キロまで上るといふ。そうした水に浸る湿地帯を「マングス」と呼び国土の十四%にも及んでいる。マングスに発生するプランクトンのお蔭で沢山のエビ、カニ、魚が集まり、鮮魚の宝庫となる。さて、日本でも知られているシュラスコ料理は何度食べてもおいしい。牛、豚などの肉の塊を長い鉄串に刺し炭火で焼き上げ、種類は30を超えボーイがテーブルに持参し、好きな部分を切って貰い食べるが断らないと皿が肉の山になってしまう。多種類の副食品も付くが、ヤシの芽の漬物が好物だ。酒は砂糖キビから造ったブラジルの焼酎カシャッサは有名である。ライムの半切れを入れて呑み、好みで砂糖を少々、先ず忘れられない酒である。帰路空港で二本求め(¥400円/本)ロスまで大事に持ってきたが、落としコンクリートに吞ませてしまった。又買ったことは無いが、土産はやはりアクアマリーンの宝石らしい。実は知人の弟さんがアマゾン川沿いのマナウスで長年鉄工場を経営されており、一時帰郷するため申請用戸籍謄本を日本から何度送っ



て貰うも皆盗難にあい、自分が持参しリオで投函、やっと受け取り喜ばれた。近年アマゾンに生息している鰐の乱獲がひどく、厳しい政府の監視を逃れて多量の鰐皮が隣国ボリビヤ経由で外国へ輸出されている。そのため鰐の餌である肉食魚ピラニアが異常繁殖、人間の食料なる川魚を食べ、その数が激減している。フロンガスと同様ここでも人に依って自然のバランスが失われようとしている。アマゾンで重要食用魚の一つで世界最大淡水魚ピラルクの鱗を爪研ぎ用に貰った。この魚は全長五米にもなるそうで、その捕獲方法は先ず、河の波形から魚の居場所を見付け出し(魚群探知機は不要)二十時間余りを要して河の浅瀬に追い込み木の上からモリで仕留める。早速仲間を呼び引き上げるのが大変であり、勿論ウインチ等はない。小さな舟に乗せるため重過ぎると沈んでしまうので、全量持ち帰らず一部は捨てて、可能な範囲で運んでゆく。切り売りすれば二週間は生活出来、その間働かずのんびり暮す。何でも根こそぎ捕獲せねば気の済まない日本人とは大違いである。彼らは食べて行けば十分で、沢山取り裕福に成ろうと思はない。この辺に自然とのバランスが保たれている。ジブラルタル海峡の蛸を根絶やし捕獲、狩猟禁止にしたのも日本人だ。日中歩道にテントで覆いローソクが点火されていたので、聞くと今撃たれた仏様の由、人だかりどころか、誰も無関心には驚いた。夜はストレートチルドレン群がたむろして居り危険で、移動は全て車だ。次に信じ難い話だが、リオの中心街をパトロール中の警官曰く「市は破産して給与もともに払えない。ボーナスは普通の四十%しか出ない」そこに若い娘が三人来て「今、そこで泥棒が駐車中の車の窓を割って、カーステリオを盗んでいる、捕まえたら！」警官曰く「俺の管轄はこの通りだけ、われ関せず」の由、又犯罪者を見つけると遠くから大声で騒ぎ逃げた後現場につくらしい。また別の話、学校の先生が給与を貰えないのでストライキを続け、単位不足になり進級せず卒業できない生徒が続出するも、子供が悪い訳ではない。

出張の空いた時間にゴルフをしたことがある。山際の山林と反対側は海岸コースという大変興味を引くレアウトだが、境目が道路で信号もなく時速100キロ以上の車が通り、決死の思いで渡った。プレー後、遅い昼食で客は皆無、他のテーブルを指さして同一品を注文できず、ポルトガル語



も分からず困ったが魚の絵を描いて注文し満腹となる。牛とか豚の絵では区別がつかず、魚の図は正解だった。以上、良し悪しにかかわらず興味のある話題を紹介したが、ブラジルに於ける諸事象も見る人、聞く人によってその印象は異なる。何れにせよ明治以来移民で日本とは深い関係を持つ国であり、少しでもブラジルに関心を持って頂ければ幸いである。又古い話と現在が入交り不自然な点はお許し願いたい。

以上 アジア物性材料(株)会長 鶴岡 武

6.【雑学】江戸を歩く江戸城探検(1)

町田市に歴史を楽しむ歩く会というクラブがある。男の料理教室で一緒にKさんに誘われて2月14日、歩く会の主催する江戸城探検ハイキングに参加した。本日のコースは桜田門からお堀に沿って歩き大手門より皇居東御苑に入り北桔橋門から出て、北の丸公園を探検(ここで昼食)して田安門で解散である。メトロ有楽町線桜田門駅にAM9時30分集合、おおよそ40名の参加の模様。天気晴朗なれど風強く、毛糸の耳当て・手袋が欠かせない。



警視庁(桜田門)



桜田濠から国会議事堂を望む

いよいよ地上に出てハイキングの開始となるが、皇居の周りはランニングの名所でもあり、多くのランナーが我が物顔で走っているため、我々歩く方は肩身が狭い。まずは桜田門を目指す。今では桜田門と言えば警視庁の代名詞であり、確かに本庁舎は桜田濠に面し青空の中、威風堂々と建ち、桜田濠の先には国会議事堂が見える。桜田門を通り抜けると皇居外苑(皇居前広場)である。桜田門といえば「桜田門外の変」が思い浮かぶ。

「桜田門外の変」

万延元年(1860)3月3日、水戸・薩摩の浪士が大老井伊直弼を暗殺した事件である。直弼は安政5年(1858)6月勅許を得ずに日米修好条約の調印を断行、違勅問責の登城をした水戸徳川斉昭等のご三家の諸侯を処罰、将軍後継問題で朝廷の期待する一橋慶喜を退け、紀伊藩主徳川慶福(のち家茂)を後継に決定。これに反発する浪士たちの襲撃事件となった。



桜田門とランナー



皇居正門石橋

二重橋濠に沿って歩くと坂下門が見える。江戸末期、ここでも「坂下門外の変」が起っ

た。

「坂下門外の変」

文久2年(1862)正月15日、常野の志士が老中安藤信正を襲撃した事件。信正は大老井伊直弼の推挙で若年寄・老中と昇進し、直弼の指示のもとに水戸藩を威嚇して戊午の密勅の返納を強制し、同藩の志士から敵視されていた。桜田門外の変以来、老中らは警護を厳重にしていたのと、刺客が少数であったため、信正を負傷させただけで終わった。



皇居前広場から坂下門を望む

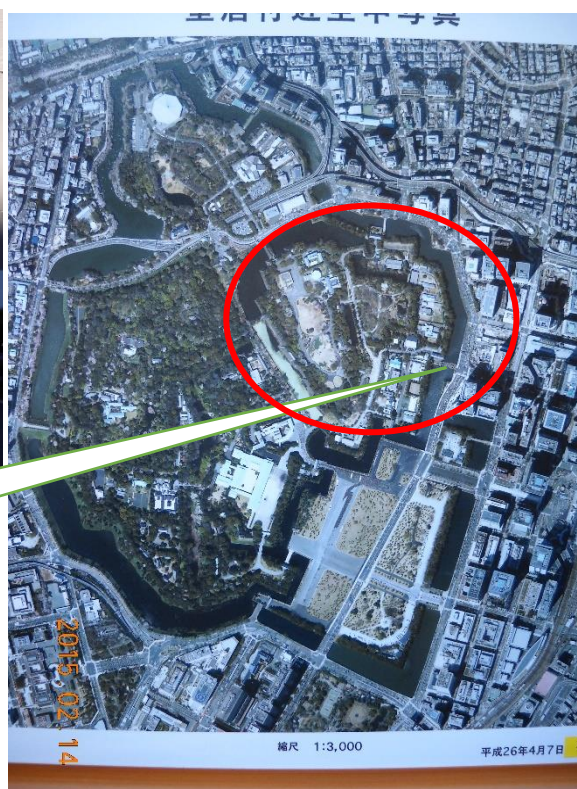


辰巳櫓(二重櫓)

桔梗濠に映る美しい辰巳櫓(二重櫓)を横目に和田倉噴水を過ぎ大手門へと向かう。現在の皇居(御所)は江戸時代には西ノ丸と言われて、将軍を譲った前将軍の隠居所であった地区で、公開されている皇居東御苑こそ、江戸時代、将軍の本丸であった場所である。皇居東御苑は月曜日・金曜日は休園日であり、午前9時～午後4時まで入園できる。出入口は大手門、平川門、北桔橋門の三か所である。入門口で入門票を受取り、退出門で返還する。紛失すると退出できないそうだ。現在大手門は3.11で壊れたため、工事中で幕に覆われ見ることができない。



工事中の大手門



大手門と皇居東御苑(赤丸)。左上は北の丸公園となる。

大手門より入苑して、三の丸尚蔵館を過ぎ大手休憩所に集合する。ここから先はしばらくトイレがないので休憩所にて身を整える。20名位の班になり、事前予約の無料のボランティアガイドさんが案内してくれることになった。我が班のガイドさんは和服を召した妙齢の女性である。いざ出発、江戸城を警備するため大手門から本丸までは三つの番所がある。同心番所、百人番所を通り、中の門跡へ進む。中の門を入ると大番所になる。現在、中の門そのものはなく「中の門跡」石碑のみが建てられている。



百人番所



中の門跡

百人番所とは甲賀集、伊賀集、根来集、二十五騎組の同心百人が昼夜交代で詰め、目を光らせて警備した詰所のこと。大番所は本丸が近いので比較的身分の高い同心や与力が警護を担当した詰所である。



大番所



中雀門跡

中の門、大番所を過ぎると、いよいよ本丸に近い。その前には中雀門が控えている。中雀門は火災で失われ、その石垣は火であぶられ、表面剥離や加熱硬化でまるで鑿で刻印したように見える。まずその前に、富士見櫓の見学となる。説明版によると「櫓」とは倉庫や防御の役割を持った建物で、かつて江戸城には19の櫓があった。今は、伏見櫓、桜田二重櫓、富士見櫓の三つが残っているだけである。その中で、富士見櫓は唯一の三重櫓である。明暦の大火(1657)で焼失した天守閣の代用としても使われ、将軍が両国の花火や品川の海を眺めたと言われている。当然ここから富士山も眺められたので、富士見櫓と命名したのであろう。



富士見櫓の側は立ち入りできないので、ただフェンス越しに眺めるだけである。本丸跡の一角には万作の花が開花している。

本丸跡地区には、天皇陛下のお考えで、日本古来の果樹を植えた果樹古品種園がある。一例として加賀藩在来ワリンゴが植えられている。

現在、私たちが食べている林檎は、西洋りんごであり、明治6年、開拓使次官・黒田



清隆の招きで来日した開拓使のお雇い外国人であるケプロンがアメリカより北海道に移植したのが元祖と言われている。明治12年、民間では初めて林檎を結実させたのは戊辰戦争に破れ、その後余市に入植した旧会津藩士の人々である。

余談であるが平成26年9月末より平成27年3月末まで、NHKの朝ドラ「まっさん」が放映されたが、西洋りんご発祥の地であり、竹鶴正孝が当初その余市林檎でジュースを作る大日本果汁株式会社を設立し会社を維持しながら、ウイスキーを醸造したニッカウキスキーの創業地「余市町」が舞台となっている。

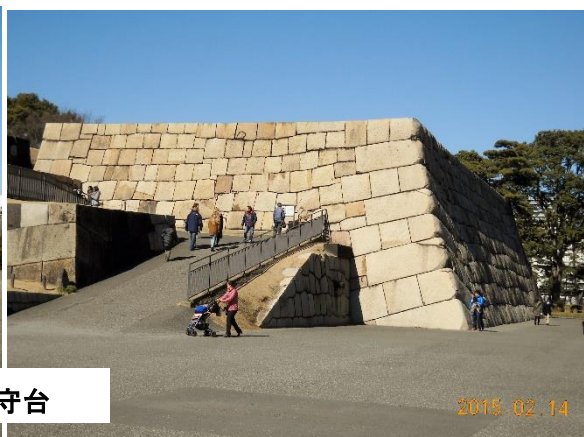


広々とした本丸跡の大芝生は出入り自由とのこと。子供を遊ばせる場所として最高の場所と見受けられる。

平成2年11月、大嘗祭^{だいじょうさい}(天皇陛下のご即位後に行われる一世に一度の重要な儀式)が執り行われた場所である。



天守台



江戸城天守閣は、三度建て替えられたが、明暦（1657年）の大火で焼失後は、天守台石垣が築き直されただけで、再建することはなかった。天守台の海拔は約200m、天守台の高さは約10mである。ここからの眺望は抜群と言われているが、今回のハイキングでは天守台に登らなかったのが心残りであった。



本丸と言えば、赤穂浪士討ち入りにつながったことで知られる、元禄14年（1701）浅野内匠頭長矩の吉良上野介義央への刃傷事件のあった松の大廊下跡がある。

松の大廊下とは、廊下に沿った襖戸に松と千鳥が描かれていたのが名前の由来と言われている。江戸城で2番目に長い廊下で、畳敷きの立派なものであった。



汐見坂

天守台より汐見坂へ向かう。

汐見坂は本丸と二の丸をつなぐ坂道であった。その昔、今の新橋から皇居前広場の近くまで日比谷入江が入り込み、この坂から海を眺めることができた。坂の上には汐見坂門が設けられていた。

汐見坂を下った白鳥濠の向いに**二の丸雑木林**がある。昭和天皇のご発意で、都市近郊で失われていく武蔵野の雑木林を復元



すべく、昭和 58 年から三か年かけて表土と共に、武蔵野より移植造成した。表土を武蔵野から持ってきた土で敷き詰めたのは、樹木にここは皇居(千代田区)ではないよ、生まれた地の武蔵野だよと DNA に刷り込むためと言われている。

また現天皇陛下のお考えを受けて、平成 14 年に拡張された新雑木林には流れも作られた。続いて梅林坂へと向かう。



梅林坂は本丸と二の丸を結ぶ坂である。文明 10 年 (1478) 太田道灌が天神社を祭り、数百株の梅を植えたので梅林坂の名前が付いたと言われている。



梅林坂を上り、書凌部脇を通過して、北桔橋門へと向かう。

北桔橋門で入場札を返却し退出する。

私たちは、続いて北の丸公園探索に向

かうのだが、第一報は皇居東御苑の報告にとどめる。



【文責：専務理事】